

News Release

船橋競馬場駅から徒歩3分の好立地 1日1組の家族葬ホールがオープン

コロナ対策も万全のプライベート空間「ファミリー船橋宮本ホール」

株式会社家族葬のファミリー（本社：東京都港区、代表取締役：中道康彰）は、グループ累計95店舗目となる「家族葬のファミリー船橋宮本ホール（千葉県船橋市）」を2021年3月1日（月）にオープンします。

新しい時代の変化に呼応するように、千葉県内でも急速に需要が高まっている「家族葬」の専用ホールです。当社は、家族葬を専門に手掛けて21年目の葬儀社であり、新ホールは県内18店舗目、船橋市内4店舗目の直営施設となります。この船橋宮本ホールの周辺は大きな葬儀場が多く、「1日1組」のプライベート空間を確保できる家族葬ホールがありませんでした。京成線ユーザーに利便性の高いこの地で、お葬式の選択肢を広げてまいります。

また、3月12日（金）～14日（日）には、オープニングキャンペーンを行います。感染症対策を万全に施した上で、将来のことを真剣に考える地域の皆様の会場見学や葬儀相談に応じさせていただきます。



オープニングキャンペーンで見学相談会を開催します。取材をご希望の方は広報事務局までお問い合わせください。

■ 3日間オープニングキャンペーン

近隣にお住まいの皆様へ「はじめまして」のご挨拶を兼ねたオープニングキャンペーンを3月12日（金）から週末の3日間開催します。ご予約不要でどなたでもご参加いただけます。（10時～16時）

キャンペーン中は式場の見学やお葬式のご相談、お見積りのご提示など、お客様のご希望に合わせて対応いたします。見学者にはGODIVAクッキーアソートメントをプレゼントいたします。

■ 「1日1組・貸切」のコンセプトは会葬者も安心

「家族葬のファミリー船橋宮本ホール」は、京成本線「船橋競馬場駅」南口から徒歩3分に位置し、京葉道路「花輪IC」からも車で約5分と電車でも車でもアクセスしやすく便利な立地です。2019年に開業した公営の火葬場「しおかぜホール茜浜」にも近く、特に京成線沿線にお住まいの皆様がご利用しやすい環境にあります。

家族葬のファミリーが掲げる「1日1組・貸切」のコンセプトは、他のご家族との接触を回避できるため、新しい生活様式における葬儀にもフィット。消毒液の設置や館内の消毒・換気などコロナ対策も徹底しており、ご家族や親しいご友人様と限られたお見送りの時間を安心してお過ごしいただけます。

1階はピロティ式の駐車場となっており、雨の日のお葬式も濡れることを気にせず参列が可能。ご高齢のご家族や車椅子の方も駐車場から2階のロビーまでエレベーターで安心して移動ができます。

モノトーンの落ち着いた雰囲気の特徴の外観。館内は、窓が多く、明るい自然光によって温かみのある空間となっています。もちろん、外からの視線はカーテンで遮れます。

■ 自宅葬から一般葬、そして家族葬へ。葬儀の形は常に社会の変化を映し出してきた

葬儀の形はその時々、世相や家族のあり方を映しながら、進化を続けています。戦後主流であった自宅葬は一般葬に置き換わり、現在は家族葬へのシフトが進んでいます。(下表参照)

◇ 葬儀形式の変遷、その時代背景

時代	主流の葬儀形式	葬儀の概要と時代背景
戦後～昭和中期	自宅葬	通夜・葬儀・告別式を含めて、自宅で行うお葬式。場合によっては寝ずに儀式の全てを取り仕切るため、遺族の負担が大きい。一億総中流化・核家族化・女性の社会進出などで激減。
昭和後期～平成	一般葬	専用の葬祭場で行われ、多くの参列者が訪れるお葬式。産業構造の変化や都市部への人口流入が進み、葬儀には親類縁者・近隣住民のみでなく、会社関係者などが多く参列するように。それに合わせて大規模な葬祭会館も全国に数多く建設された。
平成終盤～令和	家族葬	家族と親しい人で行う比較的小規模で自由度の高いお葬式。平均寿命の伸長等を背景に都心部を中心に広がっていたが、新型コロナウイルス感染症の大流行により、全国的に普及が加速。

大切な家族を長らく暮らした愛着のある場所から旅立たせてあげたい。しかし、昔ながらの自宅葬は家族等の負担が大きく難しい……。老老介護ならぬ“老老葬儀”も増える中、生活圏内における手頃な家族葬ホールの存在は、地域住民の安心感につながるものと考えます。家族葬のファミリーは、船橋市に所縁のある方々の旅立ちをお手伝いし、最期まで安心して暮らせる街づくりに貢献してまいります。

■ 高齢化が進む千葉県・船橋市のエリア内事情 75歳以上人口割合は3倍に

千葉県船橋市における75歳以上の後期高齢者人口は12.6%(全国平均:14.9%)と、20年前の22,951人から81,134人へ約3倍に増加しています(当社調べ)。増えつつあるご高齢の皆様をサポートし、よりお住まいのお近くで地域に密着したご葬儀を執り行うために、船橋市への4店舗目の出店を決めました。船橋宮本ホールの周辺には津田沼駅前ホールや隣接する習志野市の大久保駅前ホールがあり、いざという時の選択肢が3店舗に増えます。この京葉エリア(船橋・八千代方面)は9店舗を構え、東葛エリア(柏・松戸方面)も同じく9店舗体制で千葉県内でのファミリーのネットワークをさらに拡充・強化していく計画です。

参考:千葉県HP 千葉県年齢別・町丁字別人口令和2年度[2020年(令和2年)4月1日現在]

<https://www.pref.chiba.lg.jp/toukei/toukeidata/nenreibetsu/>

■ 店舗概要

店舗名 : 家族葬のファミリー船橋宮本ホール
 オープン日 : 2021年3月1日(月)
 住所 : 千葉県船橋市宮本4丁目16-10
 アクセス : 京成本線「船橋競馬場駅」
 南口から徒歩3分
 京葉道路「花輪IC」より車で5分
 駐車場 : 25台
 建物構造 : 鉄骨造地上2階建
 敷地面積 : 816.34㎡
 建築面積 : 287.10㎡
 施設内容 : ホール30席、遺族控室2室、
 導師控室など
 電話番号 : 0120-365-024



■ 家族葬の専門葬儀社として設立 21 年目。2020 年 3 月に親会社（持株会社）が上場。

家族葬のファミリーは、2000 年に第 1 号の家族葬ホールを出店し、2020 年に設立 20 周年を迎えました。当初から「家族葬」をブランド化し、家族の絆が深まるご葬儀を提供し続けています。直営ホールのみならず、全国にある 1,000 箇所のある斎場で 10 万件以上のご葬儀実績があります。

直営ホールは、1 号店の出店から現在（2021 年 1 月末）までに撤退した店舗はありません。これにより、顧客への葬儀サービスの安定供給と地域雇用に寄与しています。

事業の成長力を認められ、2020 年 3 月には親会社（持株会社）の「きずなホールディングス」が東証マザーズに上場しました。7,000 社以上あるとされる葬儀社で 5 社目の上場企業です。

将来的には、47 都道府県への出店と葬儀サービスの提供を目指しています。

■会社概要

株式会社家族葬のファミリー

- 【設立】 2000 年 7 月
- 【代表】 代表取締役 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6431（代表）／FAX 03-5427-6433（代表）
- 【従業員】 469 名（2021 年 2 月 1 日時点）
- 【資本金】 100 百万円
- 【売上高】 7,875 百万円（2020 年 5 月期 日本基準）
- 【事業内容】 ・葬儀葬祭に関する一切の業務
・フランチャイズシステムによる葬儀葬祭事業の展開
・「お葬式を家族のものに」のスローガンのもと、
1 日 1 組限定の「家族葬のファミリー」及び邸宅型家族葬の「弔家の灯」を提供
・これまでの葬儀の価値観にない「家族の意向を汲んだ、家族のための家族葬」を提供
- 【URL】 <https://www.famille-kazokusou.com/>

株式会社きずなホールディングス

- 【設立】 2017 年 6 月
- 【代表】 代表取締役社長 兼 グループ CEO 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6432
- 【従業員】 540 名（グループ社員数、2021 年 2 月 1 日時点）
- 【資本金】 153 百万円
- 【証券コード】 東京証券取引所マザーズ市場 7086
- 【売上高】 7,676 百万円（グループ連結、2020 年 5 月期 IFRS 基準）
- 【事業内容】 ・グループ全体の経営戦略に関する立案、推進ならびに管理
・葬儀葬祭に関する一切の業務
- 【URL】 <https://www.kizuna-hd.co.jp/>

<報道関係者お問い合わせ先>

家族葬のファミリー 広報事務局

TEL : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788 E-mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 小室（携帯 : 090-5537-8309）、杉村（携帯 : 070-1389-0175）